

記者発表資料
配布先:石川県政記者クラブ

発表日時
平成20年2月6日

平成19年度 補正予算

記者発表資料



取 扱 | **平成19年度補正予算成立後解禁**

お問い合わせ先
国土交通省金沢河川国道事務所 TEL 076-264-8800(代)

【治水関係】 調査第一課長 万行(まんぎょう) 携帯番号 090-3293-6235

【道路関係】 調査第二課長 向田(むかいだ) 携帯番号 090-8965-7541

注意:携帯番号へは番号通知設定でお掛け下さい。

平成19年度 補正予算(金沢河川国道事務所)

平成19年1月、平成19年10月及び平成19年11月に発生した高波浪(冬期風浪等)により被害を受けた石川海岸(小松工区、片山津工区)を早期復旧するための

災害復旧費として 約 776 百万円

台風、豪雨などによる災害の防止等のために実施すべき事業を推進するための

一般公共事業費等として 約 3,719 百万円

さらに上記の目的に加え、公共事業の円滑かつ効率的な執行を図るために、次年度以降の予算を前倒しする

ゼロ国債として 約 4,329 百万円

事務所合計 約 8,824 百万円

が配分されました。

:ゼロ国債とは、債務負担が次年度以降にわたるもので、当該年度中の国費の支出がゼロの国債債務負担行為のことで、年度内に工事の発注が行え、工事が絶え間なくまた早期に工事がすすめられる。

:国庫債務負担行為とは、通常、単年度での執行となる歳出予算について、完成が数年度を要する事業等で、国会の議決を得て数年度にわたり負担が行える行為のこと。

金沢河川国道事務所 平成19年度補正予算表

(単位:百万円)

	災害復旧費	一般公共事業費等	ゼロ国債	合計
治水関係	776	1,939	949	3,664
道路関係	-	1,780	3,380	5,160
事務所計	776	3,719	4,329	8,824

主要事業

治水関係

- 石川海岸の災害復旧事業推進【災害復旧】
- 梯川重点改修区間の整備促進(小松地区)【一般公共】
- 別当法面对策の整備完成【一般公共】
- 別当出合床固工の整備促進【ゼロ国債】
- 蛇谷護岸(尾添川)の整備完成【一般公共】
- 侵食防止対策を図る離岸堤の補強(根上工区)【一般公共】
- 石川海岸における被災を未然に防ぐ海岸堤防補強(片山津工区)【一般公共】
- 石川海岸の海岸保全施設の整備促進(4、5基目の人工リーフ着手)【一般公共・ゼロ国債】

道路関係

- 一般国道470号(七尾氷見道路(能越自動車道)の整備推進)【一般公共・ゼロ国債】
- 一般国道8号(加賀拡幅の整備推進)【一般公共】
- 一般国道8号(小松バイパス(八幡IC)の整備推進)【一般公共】
- 一般国道8号(南郷拡幅の整備推進)【ゼロ国債】
- 一般国道157号(香林坊拡幅の整備推進)【ゼロ国債】
- 一般国道159号(津幡バイパスの整備推進)【一般公共】
- 一般国道8号(東山高架橋耐震補強の整備推進)【一般公共】
- 一般国道8号(三日市高架橋他橋梁補修の整備推進)【一般公共・ゼロ国債】
- 一般国道159号(菅原防雪事業の整備推進)【ゼロ国債】

かけはしがわ

梯川重点区間（小松地区）改修事業の推進

梯川水系梯川（石川県小松市）

安全・安心な地域づくり

- ・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川で、氾濫域に人口、資産等が集中している一方で、洪水の流下能力が著しく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している前川合流点～鍋谷川合流点間（1.0k～7.6k 間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次、引堤による堤防整備により流下能力の向上を図っています。

また同改修区間においては小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し、地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

事業着手

昭和46年度

平成19年度の補正内容【一般公共】

近年洪水では、平成10年9月、平成16年10月及び平成18年7月と「はん濫危険水位」を超え、避難勧告等がなされるなど危険な状況にあることから、引き続き重点改修区間で市街地が隣接している小松地区の堤防整備（引堤）を推進するため、築堤・護岸、用地補償等（水路・市道付替等）を促進します。

- ・天神地区 水路・市道付替 1式、築堤・護岸 600m
- ・泉・丸の内地区 低水護岸 70m



べっとう
別当法面对策の整備完成
手取川水系牛首川（石川県白山市白峰）

安全・安心な地域づくり

・観光の拠点地域における安全・安心確保

事業の概要

別当谷については、平成16年5月7日発生の土石流により別当出合の登山用吊橋流出や砂防新道への土砂堆積などの大きな被害を受け、年間約5万人が訪れる登山者に甚大な影響を与えました。また、平成18年9月7日にも別当谷上流で山腹崩壊があり、登山道（砂防新道）に影響を与えています。

今年度、別当谷第15号砂防堰堤の右岸法面において、凍結融解及び降雨が起因と考えられる崩壊が拡大している事が確認されました。法面上部には、登山道（砂防新道）ならびに砂防工事用道路があり、また直下流には別当出合（登山基地）があるため早急に対策を行う必要があります。

整備効果

別当谷法面对策の完成により、更なる法面崩壊の拡大を防止し、登山道（砂防新道）ならびに砂防工事用道路の安全度が向上されます。

事業着手

平成19年度

平成19年度の補正内容【一般公共】

法面崩壊に伴う土砂災害に対する安全度の向上を図るため、別当谷右岸において法面对策として山腹工を整備します。

位置図



別当法面对策

平成19年7月撮影



別当谷第15号砂防堰堤

平成19年10月撮影



べっとうであい

別当出合床固工群の整備促進

手取川水系牛首川（石川県白山市白峰）

安全・安心な地域づくり

- ・近年大きな災害を受けた地域における治水事業の重点実施

事業の概要

別当出合地点においては、平成 16 年 5 月 7 日発生 of 土石流により登山用吊橋の流出や砂防新道への土砂堆積などの大きな被害を受け、年間約 5 万人が訪れる登山者に甚大な影響を与えました。また、平成 18 年 9 月 7 日にも別当谷上流で山腹崩壊があり、登山道（砂防新道）に影響を与えています。

別当出合床固工群は河床を安定させ、別当谷、柳谷及び赤谷からの流出土砂をスムーズに流下させるとともに渓岸侵食の防止を図ることにより、登山者・登山道の安全確保、登山基地である別当出合登山センターやアクセスルートである県道白山公園線の安全性の向上と自然豊かな溪流環境を創出します。

整備効果

別当出合床固工群の完成により、土石流発生による土砂災害に対して登山者・登山道の安全確保、登山基地である別当出合登山センターやアクセスルートである県道白山公園線の安全度が向上されます。

事業着手

平成 5 年度

平成 19 年度の補正内容【ゼロ国債】

近年の度重なる土石流発生による土砂災害に対する安全度の向上を図るため、事業（別当出合床固工群）の早期完成に向け細谷第 3 号床固工の整備を促進します。



じゃだに
蛇谷護岸工の整備完成
手取川水系尾添川（石川県白山市吉野谷）

安全・安心な地域づくり

・観光の拠点地域における安全・安心確保

事業の概要

蛇谷流域には裸地・崩壊地が点在し、河道には不安定土砂が多く堆積しています。
また、年間約10万台の利用がある白山スーパー林道が並行していて、中宮レストハウスは石川県側の入口に位置する拠点となっています。
今年度実施しました施設点検により、中宮レストハウスに隣接する溪岸において浸食が発見され、溪岸浸食被害拡大防止のため早急に対策工を行う必要があります。

整備効果

蛇谷護岸工の完成により、更なる溪岸浸食拡大を防止することで中宮レストハウス及び白山スーパー林道の安全度が向上されます。

事業着手

平成19年度

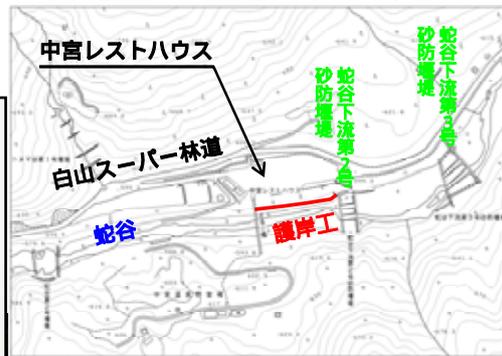
平成19年度の補正内容【一般公共】

溪岸浸食に伴う土砂災害に対する安全度の向上を図るため、蛇谷右岸において護岸工を整備します。

位置図



蛇谷護岸工



平成19年10月撮影



石川海岸 侵食防止対策を図る離岸堤の補強 (石川県能美市)

安全・安心な地域づくり

・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

根上工区吉原釜屋の当地区において、離岸堤の設置により前浜を維持していましたが、度重なる冬期風浪により離岸堤の沈下が激しく機能が低下している状態にあるため、離岸堤の補強を実施し侵食防止対策を図ります。

整備効果

離岸堤としての機能が回復し、更なる侵食が防止され背後地の安全が確保されます。

事業着手

昭和55年度

平成19年度の補正内容【一般公共】

平成19年度補正では離岸堤の補強を100m実施します。



平成19年度補正施工箇所(能美市吉原釜屋地先)

石川海岸 被災を未然に防ぐ海岸堤防補強 (石川県加賀市)

安全・安心な地域づくり

・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

片山津海岸は冬期風浪による侵食が著しく、平成19年11月には冬期風浪により堤防護岸が被災を受けています。被災箇所近くに位置する当箇所では消波工の沈下が発生しており同様の風浪に襲われた場合に被災する可能性が想定されるため、被災を未然に防ぐための補強を緊急的に実施します。

整備効果

消波工を設置することで海岸堤防が機能回復し、更なる侵食が防止され背後地の安全が確保されます。

事業着手

平成19年度

平成19年度の補正内容【一般公共】

消波工による海岸堤防の補強200mを実施します。



消波工の沈下状況



平成19年度補正施工箇所(加賀市塩浜地先)

石川海岸 海岸保全施設整備の促進 (石川県小松市)

安全・安心な地域づくり

・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

石川海岸は、加越沿岸の中央に位置し、背後には加賀平野を代表する穀倉地帯が広がっており、近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展しています。また、石川海岸は冬期風浪による侵食が著しく、明治以降数百mにおよぶ海岸侵食を受け災害が相次いだことから、直轄海岸保全施設整備事業として、直立堤防・緩傾斜堤・離岸堤・人工リーフの整備を実施しています。

小松工区(5,540m)は平成16年6月に直轄管理区間となり人工リーフ工事に着手しており、平成19年度までに人工リーフ3基が完成しています。

整備効果

冬期風浪や台風による侵食を防ぎ背後地の安全が確保されるとともに、近年頻発している災害を防ぎます。

事業着手

平成16年度

平成19年度の補正内容【一般公共、ゼロ国債】

毎年波浪により堤防護岸の決壊や堤防天端陥没等の被災が相次いでいる小松工区において、4基目の人工リーフの暫定断面を完成させ、5基目の人工リーフに着手します。



平成19年度補正 施工箇所
【小松市浜佐美・日末地先】(平成17年8月撮影)



平成19年度補正 施工箇所
【小松市日末地先】(平成18年5月撮影)

平成19年10月低気圧 緩傾斜堤の災害復旧 (石川県小松市)

安全・安心な地域づくり

・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

平成19年10月の低気圧により小松市安宅新地先において緩傾斜堤が被災しました。被災状況は、堤体土砂の吸い出しにより緩傾斜堤が沈下しており、このまま放置しておくとう海岸保全施設の機能が確保できないため、災害復旧工事を実施します。

整備効果

緩傾斜堤の機能が回復し、侵食が防止され背後地の安全が確保されます。

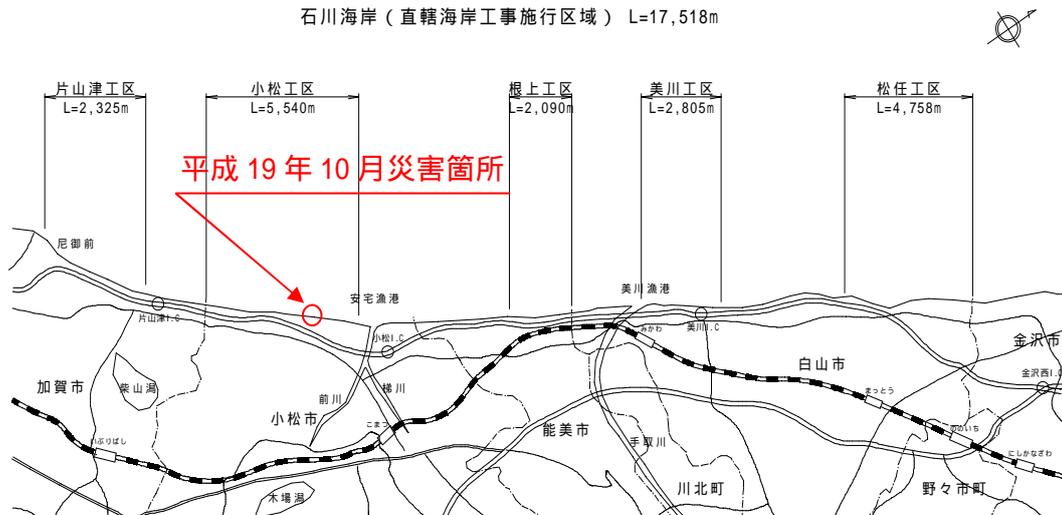
事業着手

平成19年度

平成19年度の補正内容【災害復旧】

平成19年度補正では緩傾斜堤の復旧を36.4m実施します。

石川海岸（直轄海岸工事施行区域） L=17,518m



平成19年11月冬期風浪 堤防護岸の災害復旧 (石川県加賀市)

安全・安心な地域づくり

・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

平成19年11月の冬期風浪により加賀市篠原地先において堤防護岸が被災しました。被災状況は、堤体土砂の吸い出しにより堤防護岸背後の空洞化、天端工の陥没であり、このまま放置しておくとも海岸保全施設の機能が確保できないため、災害復旧工事を実施します。

整備効果

堤防護岸の機能が回復し、侵食が防止され背後地の安全が確保されます。

事業着手

平成19年度

平成19年度の補正内容【災害復旧】

平成19年度補正では堤防護岸の復旧を143m実施します。

石川海岸（直轄海岸工事施行区域） L=17,518m



一般国道470号七尾氷見道路事業の推進

石川県七尾市～富山県氷見市

広域的連携交流・活力のある地域づくり

・日本海国土軸の形成と太平洋側の国土軸との連携

安全・安心な地域づくり

・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

能越自動車道は、石川県輪島市から富山県砺波市に至る延長約100kmの高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路です。七尾氷見道路は能越自動車道の一部を構成し、石川県七尾市八幡（七尾IC）から富山県氷見市大野（氷見IC）に至る延長約28.1kmの道路です。

このうち、七尾ICから富山県境部までの延長約13.5kmの石川県区間については、平成19年度は、用地買収・埋蔵文化財発掘調査を推進するとともに、改良工事、橋梁工事を推進しています。

整備効果

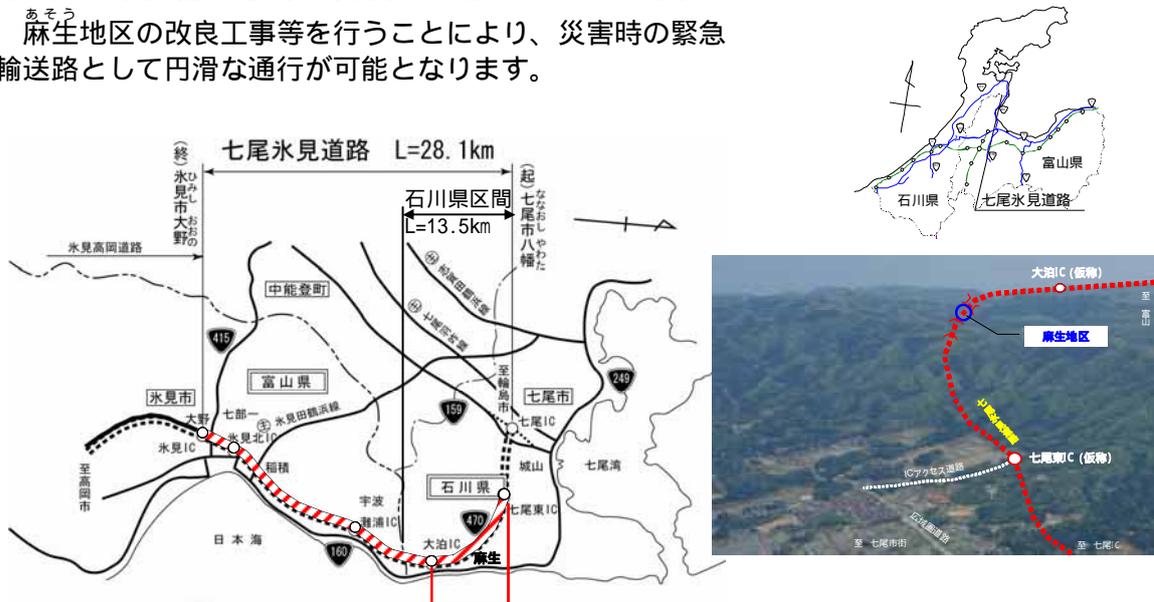
高規格幹線道路網の形成と重要港湾七尾港へのアクセス強化及び、国道160号の事前通行規制区間の迂回となり安全・安心に通行できる道路環境整備を図ります。

事業着手

平成8年度

平成19年度補正予算の内容【一般公共・ゼロ国】

麻生地区の改良工事等を行うことにより、災害時の緊急輸送路として円滑な通行が可能となります。



凡	例
供 用 中	—————
事 業 中	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
平成19年度補正	///////

かが 一般国道8号加賀拡幅事業の推進 石川県加賀市

安全・安心な地域づくり

・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

加賀拡幅は加賀市内における一般国道8号の交通混雑の緩和を目的とした、石川県加賀市箱宮町から同市黒瀬町に至る延長6.4kmの拡幅事業です。

平成11年度から平成13年度までに実施した市民参画型道路計画(P I)を踏まえ、現道拡幅による道路計画を策定しています。

整備効果

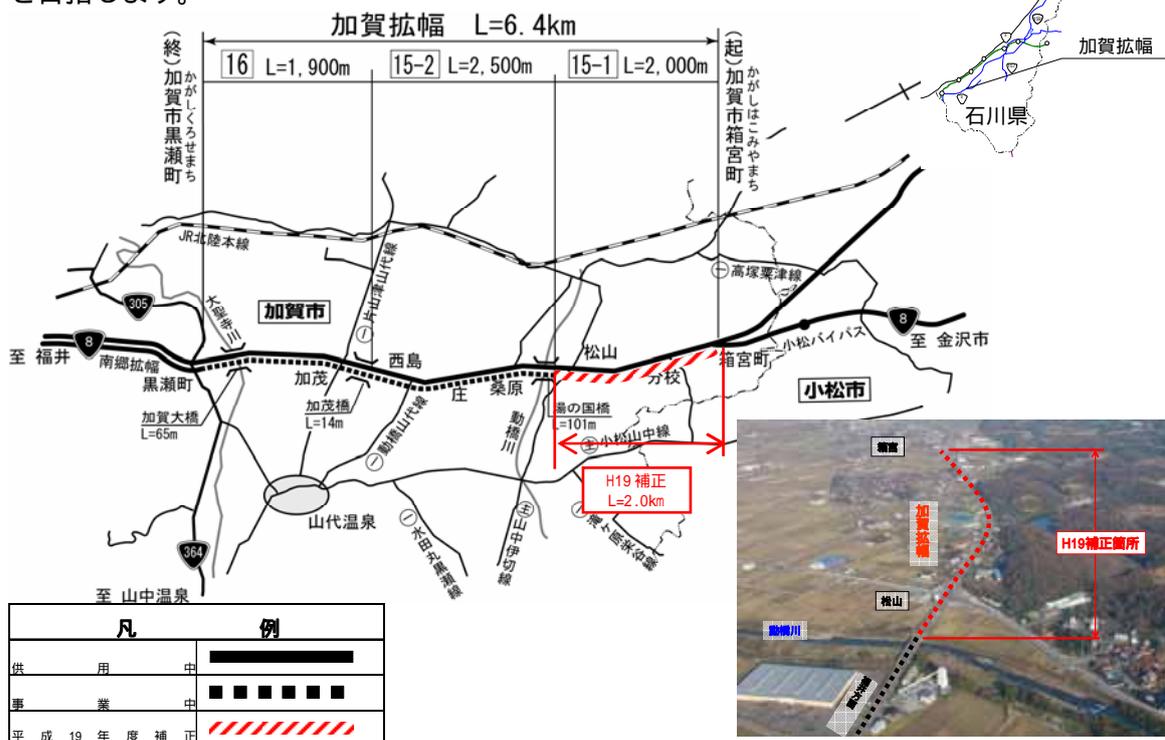
北陸自動車道加賀ICと一般国道8号小松バイパスに挟まれたボトルネック区間において、中央分離帯と広い歩道を備えた4車線の道路が整備され、車両と歩行者や自転車の完全性が向上するとともに、加賀温泉郷を中心とする加賀市の経済活動や観光を阻害する渋滞を解消します。

事業着手

平成15年度

平成19年度補正予算の内容【一般公共】

加賀市箱宮町から同市松山町に至る延長2.0kmの区間において改良工事を推進し、早期の4車線拡幅供用を目指します。



一般国道一般国道157号香林坊拡幅の推進 石川県金沢市

安全・安心な地域づくり

・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

香林坊拡幅は、一般国道157号の安全で円滑な道路交通を確保するほか、金沢市の都心軸である下堤町（むさし交差点）～片町間の都市景観の向上と快適な歩行者空間の創出を目的として両側に植樹帯を有する広幅の歩道を整備し、拡幅を行いながら電線類の地中化や緑化等の市街地整備を実施している延長1.6kmの拡幅事業です。

整備効果

武蔵地区歩道拡幅は、むさし交差点で実施中である武蔵ヶ辻第四地区第一種市街地再開発事業（近江町市場再整備）と一体的に歩道及び地下道の整備を実施し、歩行者の安全性・利便性を確保し良質な景観の形成や地域の賑わいの場の創出など、様々な角度から街づくりを支援します。

事業着手

昭和62年度

平成19年度補正予算の内容【ゼロ国債】

補正予算の投入により、平成20年度を完成目標とし、整備が進められている再開発ビルと武蔵地区の歩道拡幅工事を連携して進め、早期の完成を目指します。



凡	例
供用中	—————
事業中	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
平成19年度ゼロ国補正	//////

一般国道8号 東山高架橋(上り)耐震補強事業の推進

いしかわ こまつ
石川県小松市

安全・安心な地域づくり

・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

石川県小松市東山に位置する東山高架橋は、昭和 59 年に建設され 23 年が経過しています。一般国道 8 号は、緊急輸送道路として位置づけられており、第 3 者への被害が懸念される跨道橋を優先的に耐震対策を施します。

また、平成 18 年度橋梁定期点検により損傷が確認されています。

耐震補強に併せて主桁の補修を行うことで、橋梁の保全と長寿命化を図り、安全な交通の確保を図ります。

整備効果

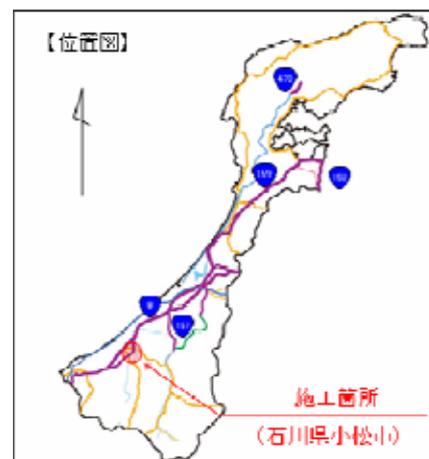
緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

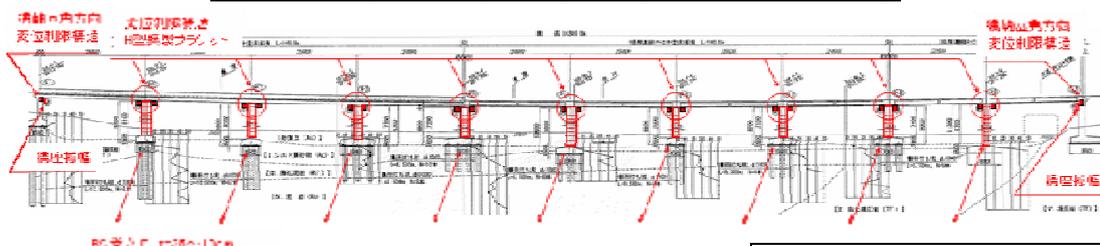
平成 19 年度

平成 19 年度補正予算の内容【一般公共】

橋脚の耐震補強、落橋防止対策及び主桁の補修を実施します。



一般国道 8 号 東山高架橋(上り)(1984年建設)



凡 例	
供 用 中	■
事 業 中	■
平成 19 年度補正箇所	■

一般国道8号 三日市高架橋橋梁補修事業の推進

いしかわ ののいち
石川県野々市町

安全・安心な地域づくり

・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

石川県石川郡野々市町に位置する三日市高架橋は、建設後 33 年が経過しており、平成 18 年度橋梁定期点検により損傷が確認されています。

このため、橋梁の保全と長寿命化を図り安全な交通の確保を目的に橋梁補修を実施します。

整備効果

緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

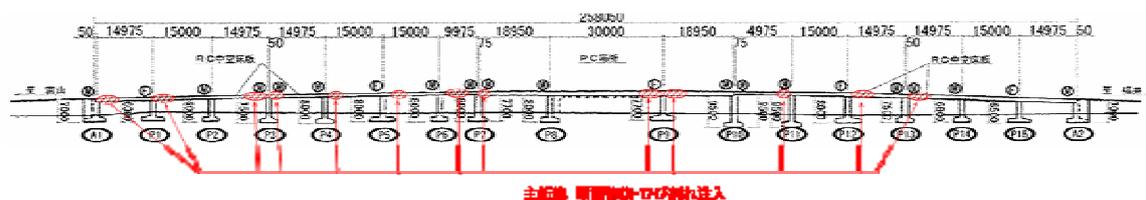
平成 19 年度

平成 19 年度補正予算の内容【一般公共】

橋梁定期点検により主桁・床版のひび割れ及び支承の腐食が確認されたため、主桁・床版の補修、支承の防錆対策を施します。



一般国道8号 三日市高架橋(1974年建設)



主桁部 腐蝕防止のための注入

凡 例	
供 用 中	■
事 業 中	■
平成 19 年度補正箇所	▨

すがわら
一般国道159号 菅原防雪事業の整備推進

いしかわ はくい ほうたつ しみず
石川県羽咋郡宝達志水町

安全・安心な地域づくり

・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

菅原地区は、家屋連担地でありながら、道路幅員が狭小なため、冬期において積雪による一般交通の障害や、除雪作業との輻輳による障害を招く状況となっています。冬期における道路機能を確保し、地域の社会・経済活動の貢献のため、早急に消雪設備の整備を行う必要があります。

一般国道 159 号は石川県能登地域と県都を連結する唯一の幹線道路であり、「緊急輸送道路ネットワーク計画」にて、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。このため、過年度より羽咋市酒井～宝達志水町宿地先間において順次消雪設備を連続的に整備してきているところです。

整備効果

冬期の緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

平成19年度

平成19年度補正予算の内容【ゼロ国債】

消雪設備（消雪パイプ）の整備を行います。



【位置図】

